| | |
|---|---|
| ① | **名前：渡士龍文**　　卒業時の講座：第５講座<br>指導いただいた先生：児島先生(当時：工業短期大学部助教授、のちに工学部教授) |
| ② | 勤務先：株式会社　日立製作所　日立工場　　勤務地：茨木県日立市<br>部門：制御盤設計(圧延機用制御盤の設計に従事) |
| ③ | a. 勤務先：株式会社 日立製作所 亀有工場　　勤務地：東京都足立区<br>部門：鉱山機械設計(鉱山機械用電気制御取りまとめ業務に従事)<br>b. 勤務先：株式会社 日立製作所 土浦工場(列島改造論に基づき工場移転)勤務地：茨城県土浦市<br>部門：制御設計(自動車用・車両用試験機の制御設計業務に従事)　その後品質保証業務に従事<br>c. 勤務先：日立ﾋﾞﾙ施設ｴﾝｼﾞﾆｱﾘﾝｸﾞ株式会社(日立製作所の孫会社)　　勤務地：東京都千代田区<br>部門：品質保証本部(品質保証業務に従事) |
| ④ | なかったと云えばなかったし、あったと云えばあったと言える。あったとすれば、それは結婚であり、定年ではないだろうか？ |
| ⑤ | 満60歳になって定年退職後８ヶ月経ってから、定年退職時勤務していた日立ﾋﾞﾙ施設ｴﾝｼﾞﾆｱﾘﾝｸﾞ㈱の取締役の斡旋により同社の子会社であるｴｲﾁ･ﾋﾞｰ･ｲｰ･ｻｰﾋﾞｽ㈱へ就職することができた。<br>その後日立ｸﾞﾙｰﾌﾟ内の系列会社見直しがあり業務移管により㈱ﾋﾞﾙﾃｸﾉｽに転属したが、現在も勤務し続けている。最初はﾋﾞﾙの設備管理の業務に携わり、その後ﾋﾞﾙの各部屋の電気・水道ﾒｰﾀの検針・料金の分配計算・請求書発行をする業務に携わっている。 |
| ⑥ | 仕事は⑤項の通り続けているが、趣味としては就職と同時に始めた尺八を現在も続けており、所属している団体(新都山流・千葉県三曲協会・松戸市三曲協会など）のﾒﾝﾊﾞｰとの交遊を通じて社会との接触を図っている。 |
| ⑦ | 前⑥項のように７４歳になった今日までｻﾗﾘｰﾏﾝ生活を続けてきたし今後も当分は続けたいと考えていたが、今年の４月に妻が脳梗塞を患い今後介護が必要となって来たのを機に９月には退職を予定している。妻は既に退院し後遺症は非常に軽いが、今後はﾘﾊﾋﾞﾘを続けなければならず、どの様に生活をしていかなければならないかが現在ではわからず、 様子を見ながらどのように生活していくかを考えなければならない状況である。 |

以上

## ＜卒業当時の先生方＞

アンケート①を見ながら、先生方のお顔を思い出してください。